

「小櫃地区20歳のつどい」開催

地域の支えと温かさに育てられた小櫃の宝

1月12日(日)に小櫃地区20歳のつどいが開催され、小櫃で生まれ育った35人の方が参列しました。

今回が小櫃地区単独開催最後となる20歳のつどいの様子をご紹介します！



第235号

編集・発行

〒292-0451 ☎35-2488

君津市末吉128

小櫃公民館

小櫃の人口

男 2,220人(-9)

女 2,204人(-17)

計 4,424人(-26)

世帯数 2,029戸(-3)

1月末現在(令和6年10月末比較)



成長・感激・そして感謝！

つどいのメイン企画「私たち新成人です！」は実行委員会が話し合い、企画・実施したものです。参列者一人ひとりが、いま頑張っていることやこれからの夢や抱負を堂々と発表しました。

その後の恩師からのメッセージでは、立派に成長した20歳の皆さんへの感激の言葉や、学校時代の懐かしいエピソードなどが語られました。つどいの最後を飾るお礼のことは(実行委員長・小倉優花さん)では「小中学校で教わったことが社会人になって活かしている。成長を見守ってくれた地域の方にも感謝をしている」とお世話になった方々への感謝の気持ちが述べられました。

来年度からは、中学校の統合に伴い上総・小櫃地区合同でのつどい開催となります。旧小櫃中学校区、小櫃公民館単独での最後の開催にふさわしい、温もりと感動あふれる20歳のつどいとなりました。

ボランティアのご協力

今年もロビーの迎え花(野の花を生ける会)に集合写真の撮影(本忠實さん)と地域の方々のご支援を受けての開催となりました。

地域の方の温かさを受けながら成長した、20歳の皆さんの夢が実現することを編集委員一同、願っています。



実行委員の皆さんにインタビュー

実行委員長の小倉優花さんをはじめとする実行委員の皆さんは、9月から話し合いを重ね、つどい当日に向けて準備を進めてきました。その実行委員のみなさんをご紹介します！

質問内容

①20歳になったの抱負やこれからの夢を教えてください
②小櫃の好きなところ・小櫃に対するあなたの想いを教えてください



小倉 優花

①たくさん場所へ旅行することが夢です。

②小櫃の好きなところは、いつでもどんな時でも人が優しいところです。歩いていると、こころには、おかげさまでと温かい言葉をかけてくれるので安心して暮らせます。今後、自分自身もそのような声かけができる存在になりたいです。



田中 伶奈

①いろいろなところの美味しいものをたくさん食べたいです。

②小櫃地域の温かい雰囲気が好きなので、これからも自然豊かで人の温かみを感じられる地域であってほしいです。



須藤 里桜

①残りの大学生活を悔いなく送りたいです。学生のうちにしかできないことや行きたい場所を全部制覇できるようにしたいです。

②中学生のとき地域の方々の明るい挨拶に励まされたので、これからも明るく温かい地域であってほしいです。



吉野 楓

①私は看護助手として病院に勤めています。大変なこともあり、一生懸命頑張っています。いつも笑顔で元気に過ごせるようにしたいです。

②自然豊かなところと地域の方々が温かいところが好きです。



小櫃公民館開館50周年記念誌を発行しました！

小櫃公民館開館50周年を記念して、記念誌「半世紀の歩みそして未来へ」を発行しました。

記念誌には、50周年記念事業のほか、半世紀に及ぶ小櫃公民館の歩みや、直近10年間の小櫃地域と公民館の歴史を掲載しています。関係者からのコラム記事やサークル・地域団体からの寄稿も多数いただきました。さらに、子どもたちによる「小櫃の未来」をテーマにした作文も収録しています。

小櫃の「これまで」と「これから」をつなぐ記念の一冊です。この機会にぜひご購入ください。1冊1500円です。お申し込みはQRコードから、または小櫃公民館窓口までお越しください。



ちよろの会活動報告

チャリティーバザー開催

文化祭2日目に開催した「おらが市」でチャリティーバザーを行いました。収益金は、42310円。この収益金の一部で、公民館利用者が自由に使えるボードゲーム、勉強や読書に活用できるスタンドライトを購入しました。

売れ残った品物を再利用！

茶室前の木製ベンチに置いてあるクッションは、売れ残った衣類を再利用して作られています。

また、毎年小学校1年生のために手作りのお守りを作っているJAきみつ女性部に衣類を引き取っていただき、お守り作りに活用してもらったことになりました。

その他にも、ロビーに「ご自由にどうぞ」コーナーを設置し多くの品物が公民館利用者のもとへ行き渡りました。

小櫃とブラジルの交流 ★ホストファミリーにインタビュー★

1月6日(月)から9日(木)にかけて、ブラジルの大志万学院の生徒たち48人が訪日使節団として小櫃にやってきました。1月6日(月)に使節団2人の女の子をホームステイ先として受け入れた茨木ファミリー(英恵さん(小櫃小5年)、すみれさん(小櫃小2年)の姉妹と、母親の夕子さん)にお話を伺いました。

○思いに残っていることを教えてください。

—英恵 小学校の友達も呼んでジェンガやビンゴ大会などをして遊びました。一緒に遊べて楽しかったです。また、夏にブラジルに行ったときに仲良くなったお友達に再会できて、本当に嬉しかったです。

—すみれ 少し日本語でお話できました。泊まりに来てくれた子にお手紙も渡せました。ブラジルのピンバッチをもらえて嬉しかったです。

また泊まった翌朝、ブラジルの娘さんたちに留守番をお願いして子どもたちを学校へ送ったのですが、その間に食器の洗い物をしてくれていてとても感心しました。しっかりとしたお嬢さんという印象でした。



夜ごはんの時間を楽しんでいる様子



—夕子 最初は受け入れをすか迷いました。ごはんも何を用意すればいいのか悩みましたが、家の子どもたちが好きなメニューを作りました。一晩を一緒に過ごしたらあつという間で、一期一会つてこういうことなんだな、と別れ際には寂しくなりました。ホストファミリーの募集があったらまたぜひ受け入れたいと思います。

小櫃まるごと博物館

「小櫃小学校学習田」

小櫃小学校下にある田んぼでは、毎年アイガモ農法による5年生の米作り体験が行われています。

平成12年、小櫃小学校創立100周年記念事業として全校児童で米作り体験を行ったことを機に、翌年以降、5年生の総合学習として、地域の方の協力のもと、田植え、アイガモの世話、かし



作り、稲刈り、脱穀、餅つき大会が実施されてきました。25年も続いた

体験授業は、道路沿いに並ぶ様々なキャラクターを模したかかしたちが地域の風物詩となり、小櫃地区文化祭での展示も恒例となっています。

今回から、故・安藤昭雄さんに代わり、吉野栄持さん(俵田)が子どもたちの指導にあたりました。

学校の了解を得て、4月の田植え準備から9月の脱穀まで長期間にわたって撮影させていただきました。

小櫃小学校の米作り体験の様子は公民館ロビーでの上映のほか動画配信も行っています。ぜひ、ご覧ください。

▼地域行事の撮影や取材にご協力いただける方・団体は小櫃公民館までご連絡ください。

TEL 35-2488



わたし流・公民館の使い方

開館50周年記念連載として、公民館を日常的に活用している方の利用方法を紹介いたします。最終回の今号では、利用者としての関わりだけでなく、公民館で開催するイベントのボランティアなどでも活躍をした中学1年生の小高優衣さん(戸崎)と手塚結菜さん(末吉)にお話を伺いました。

○公民館に来るのはどんな時？

—小高 普段は部活や塾で忙しいのですが、学校が早下校で勉強をしている手塚さん(左)と小高さん(右)



勉強をしている手塚さん(左)と小高さん(右)

時間がある時などに遊びに来ます。講堂でバドミントンや卓球をしたり、会議室で宿題やゲームをしたりします。

○ボランティアに参加した理由や感想を教えてください

—手塚 夏休みの小学生向けボードゲーム大会の運営ボランティアは、楽しそうだったから参加しました。ボランティアをしながらも、小学生と遊びたいという気持ちがありました。

—小高 文化祭の模擬店の手伝いは、お友達に誘われて参加をしました。やってみたら楽しかったです。

○公民館のお気に入りポイント

—手塚 自転車でみんなが集まりやすいのが良いです。小学生の時はただ遊ぶだけだったけれど、中学生になった今は友達とワイワイ過ごしつつ、宿題もしています。広々しているところ

小櫃の動き

小櫃保育園 避難訓練を実施

12月12日(木)



小櫃保育園では、火事や土砂災害があった場合を想定して、公民館まで避難訓練を行いました。園児たちは一生懸命歩いて避難の練習を行いました。

イルミネーションの設置

12月13日(金)



今年も12月中旬から翌年2月中旬まで設置される予定です。

編集後記

館報おびつだよりはおかげさまで今年度もつつがなく発行できましたこと、常日頃より皆さま方のご協力のたまものと、編集委員一同心よりお礼申し上げます。

来年度は新しく加わる編集委員と共に、より親しみやすくわかりやすく地域の情報やイベントの紹介等、誠意をもつて取り組んでまいります。已年の一年がみなさまにとって実り多き年となりますように。

(C)